

資料編



5-1 坂のまち 今熊野の

防災まちづくりの3年間の取組

防災まちづくりを進める3年間、住民の皆さんの協力のもと、各町の地域状況や災害に対する不安や課題、まちに対する思い等を伺い、計画をまとめることができました。また、活動を通して、計画に示した基本方針や、体制・役割、スケジュールで防災まちづくりを継続する素地をつくることができました。

防災まちづくり活動支援

地域状況の把握、住民の災害に対する不安や課題、ニーズの情報収集

地域の連携

住民が協力し災害に備える

総合
防災訓練
2018.9.2



防災まちづくりの概要説明と、今熊野のまちの評価アンケートを行いました。

総合
防災訓練
2019.9.1



避難ルートや不安箇所の確認し、近隣の町どうして現状を把握・共有しました。

災害に強いまちにする活動

まちを点検する



対策を考える



整備を進める

防災まちあるき



例年行われている消防実験会の後、町内の路地を回り、災害時に危険と思われる箇所を点検しました。

防災作戦
ワークショップ
2019.10.1,9,30



各町の現状や課題を踏まえ、どんな防災対策が可能なかを事例も参考に検討しました。



話し合っている整備（路地の改善、道の拡幅など）

すぐにできる対策（ブロック塀の撤去・改善など）

情報交流の環境づくり

学び、交流する場をつくる

防災まちづくり
講演会
2019.6.9



室崎益輝先生の坂のまちの防災の講演と、今熊野の防災について話し合いました。

情報を発信蓄積する

紙媒体での発信

- ・防災まちあるき報告町内回覧
- ・防災まちづくりニュース



ネット媒体での発信

- ・防災まちづくりホームページ、SNS 開設



2018年度
(平成 30)

2019年度
(平成 31/ 令和元)

2018（平成 30）年度～ 2020（令和 2）年度

「防災まちづくり計画」に基づいた
自律的な防災まちづくり活動へ

情報の整理

方針の検討

計画の作成

総合
防災訓練

計画づくりへ向けた意見交換の予定
でしたが、コロナ禍の影響で中止。

防災まちあるき



コロナ禍で中止もありましたが、各町の課
題を参加者で共有し、現場を調査しました。



防災計画
ワークショップ

計画策定に向けて、方針や
対策の確認、町の資源や将
来像を話し合いました。

2020.10.2,9,23



防災まちづくり
研修会

2020.6.21



防災部長対象に、これまでの
取組を共有し、これから
の防災対策を議論しました。

2020 年度
（令和 2）

「防災まちづくり計画」

学区全体で
防災意識を
高める場を
つくる

町内の現状を
把握・点検す
る場をつくる

町内等で
集まり話し合
う場をつくる

行政等と連携
し、具体的な
整備を進める

防災の考え方
を理解し知識
を学ぶ場を
つくる

学区全体で情
報共有する仕
組みをつくる

基本方針
いえ・みち・まち

基本方針
ひと

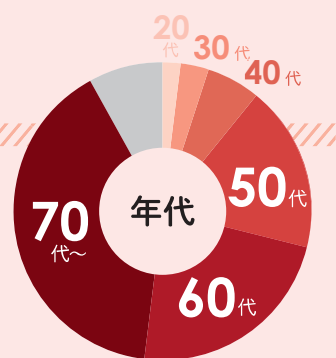
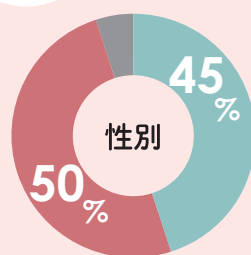
2021 年度～
（令和 3）

5-1-1 坂のまち 今熊野の まちの評価アンケート

アンケートへのご協力、 ありがとうございました！

2018年9月の総合防災訓練当日は、154名の方に回答いただきました。幅広い世代の参加があり、今熊野学区の元気が伝わりました。

回答数
154

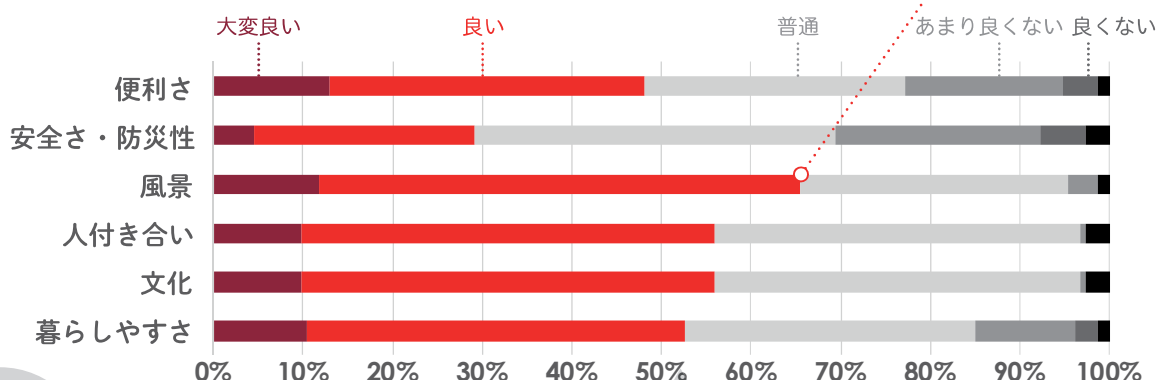


トピック 1：住環境としての評価

地域のよさは、「自然」や「静かさ」！ 一方で、坂道が多く、土砂災害も不安…

まずお聞きしたのは、「皆さんにとっての今熊野」について。
広い学区なので、地域ごとに評価は分かれたものの、
全体では、以下のような結果になりました。

「大変良い」「良い」を合わせた回答を比較すると、「風景」の評価が最も高い結果でした。



今熊野の「いいな」と思うところは？

- ・「自然・風景」(回答数：25)
山があり風景がよい、自然が豊かで静か
- ・「静かさ」(回答数：25)
坂の上の方で空気がおいしい、平穏
- ・「利便性」(回答数：16)
交通の便がいい

自由記述で回答いただいた『今熊野の「いいな」と思うところ』について、圧倒的に多かった回答は「静かさ」！自然の豊かさとともに回答される方も多く、自然や静かな環境を気に入って暮らしていっていらっしゃる方が多いことがわかりました。

今熊野の「改善したい」と思うところは？

- ・「道の課題、狭い」(回答数：20)
道を広げたい、電柱をなくす
- ・「坂や階段が多い」(回答数：12)
坂道で上り下りが大変、でこぼこ道
- ・「店舗が少ない」(回答数：10)
スーパーが遠い、商店街の活性化

一方で、『今熊野の「改善したい」と思うところ』については、「山が近く土砂災害が不安」「坂が多い(仕方ないけど…)」という回答も多かったです。良いところと課題は、どこか表裏一体のようです。悩ましいですね。

アンケート調査レポート
「住環境としての評価」「防災意識」に関する住民アンケート

トピック 2：防災意識（整備への関心）

進めよう！まちの整備！

「防災まちづくり」で、“完全に”安全なまちをつくることは難しいけれど、今よりも少しでも安全にする取組を進めることはできます。

学区が広い今熊野学区では特に、災害時避難するルートの中も安全であることが大切になりますね。



防災ひろばの整備事例（他地域）

関心のある支援制度は？



京都市が用意する支援制度のうち関心が高かったのは、大阪府北部地震の災害でも被害のあった「ブロック塀の改善」。その他、空き家対策を意識していると思われる「危険家屋除却」、そして密集地で一時的にでも退避できる「防災ひろばの整備」も関心が高い点が特徴的でした。

トピック 3：防災意識（災害に対する危機意識）

「皆さんが普段使う道を安全に」

昨今の災害を経験して「気づいたこと」については、「みち」に対する問題意識も高く、「道が狭い」「坂道が多い（特に高齢者にとっては避難さえ難しい）」が多く挙げられました。

よく使う道は、お住まいの町によって異なる結果に。普段から利用する道を念頭に置いた避難計画と、それに基づくまちの整備や対策を、地域の特色にあわせて今後進めていきます。

家が建て詰まっている密集地や路地などの、狭い通りに関する懸念も多い結果となりました。

災害を受けての不安や気づいた点は？

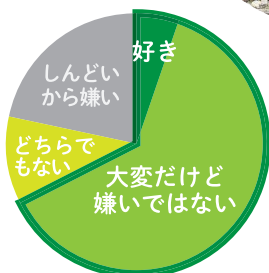
- ・「みち」に関する意見（回答数：20）
 - ・道幅が狭く、緊急車両が入れない
 - ・坂道が多く、避難が難しい
 - ・袋路が多い
- ・「いえ」に関する意見（回答数：18）
 - ・空き家が多く倒れそうな家がある
 - ・倒壊すると避難できない
- ・「まち」に関する意見（回答数：8）
 - ・古い家が多く密集している
 - ・避難所が遠い
- ・「その他」（回答数：18）
 - ・土砂災害の危険性
 - ・非常袋、消火器の確認

5-1-2 坂のまち 今熊野の 防災関連イベントでの意見

防災まちづくりの取組の中で行ったイベントでは、アンケート等によりさまざまなご意見をいただきました。その中から主なご意見を抜粋して示しています。

坂のまち について

日々の暮らしの中での、
坂についての印象は？



講演会では、災害時の地域の体制やコミュニティに関する、参加者の高い関心が伺えました。「災害に備えたまちの整備」と「日頃からのご近所づきあいによる結束」の両方がある、災害に強いまちを目指したいです。



佐俣さん | 三幸町

坂とうまくつきあう日頃の心がけや
工夫があれば、教えてください

- ゆるやかな道を選んで利用している
- 日頃から災害時の危険に備えている
- 「足腰を鍛える運動になる」と思う

- ・ いろんな道を通るようにしている
同じ道を通らないようにしている
犬の散歩でくまなく歩く
- ・ 電動自転車を使う
- ・ 常に道をきれいにし、落ち葉などがないようにする
- ・ 水を置いている、食料（日持ちするもの）を置いている

2019 年度防災まちづくり講演会アンケートより

自分自身でできること」を考えたい

- ・ 自分の隣組とのつながりから始めたい。
- ・ 隣近所と仲良く、いつも会う人に声をかけていく
- ・ 自助、共助、公助、互いに情報提供し、協力しあうことの大切さが理解できました。
- ・ 今熊野の防災の取組に参加して、いざという時に俊敏に動けるようになって、一人も患者さんを失いたくない（と思った）。（診療所職員）

2019 年度防災まちづくり講演会アンケートより

- ・ 普段考えていないことでも、少し考えなければと思った。
- ・ 改めて、町内の消火器のある場所を確認する。
- ・ 普段から防災時の声掛けとか、スムーズにいけるように意識したいです。

2020 年度防災まちづくり研修会アンケートより

参加してみたいこと について

知りたい

自分たちができること

- ・ 何を備えればいいのか。災害が起こった時に最低限やっておくべきこと。
- ・ 今熊野で最も怖いのは火事だと思う。狭い道で消防侵入が四苦八苦で初期消火、まず自助自営の骨子（すぐできること）を教えてください。
- ・ 個人でできることは？あいさつのもう一つ先のことを知りたい。
- ・ 必要最低限の防災グッズはなにか？水や食料はどれくらい？

事前の対策、 防災意識が必要と感じた

- ・ 防災意識をいかに高められるか、他人事でないで多くの人が自覚できるには、災害が起こってからではダメ。
- ・ 町内を再度チェックする必要がある。避難路、避難方法の確立、避難用名簿作成など。

2019 年度防災作戦ワークショップアンケートより

「交流の機会」が欲しい

多世代で暮らす

- ・若い世代が増えてほしいと再認識させられた。

相談できる体制

- ・町内以外でも、気になるところがあるときも相談したい。

知りたい

町内会や体制づくり

- ・今熊野はまだ体制ができていないように思う。
- ・町内会に全員が入るための方策。
- ・往診、訪問などで今熊野で医療を必要としている方の把握をしているが、地震、台風時はどう地域の方と連携できるか？（診療所職員）
- ・コミュニティの重要性はわかるが、今熊野は地域性のつながりが強い方なので期待したい。
- ・災害時の要配慮者の安否確認はだれがどう集約対応すればいい？

どんな内容のイベントなら、参加してみたいですか？

防災グッズのそろえ方

他都市の、坂のまちの防災の事例紹介

気象予報士が教える、天気図の見方

空き家の再生・活用事例紹介

- ・災害情報に関する知識：南海トラフ地震について
- ・対策知識：土砂災害について、倒木の処理の仕方
- ・まちづくりの進め方：顔の見える関係のつくり方、私有地の路地奥の対策の進め方
- ・その他提案：HUG（避難所運営ゲーム）

2019 年度防災まちづくり講演会アンケートより

知りたい

取組事例

- ・できることを確実にするということが、訓練などを通じたつながりづくりの事例が知りたい。

知りたい

災害知識や地域情報

- ・花折断層の地震がいつ発生するのか心配。
- ・一番（災害が）多い地域性はあるか？
- ・坂の上に住んでいます。もう少し今熊野のことを中心に話してほしい。

地域でつながる

- ・地域の全体の集まりが多い方がよい。
- ・今日の企画からもう少し発展させて、人数も増やして話せると嬉しい。
- ・地域のつながりが重要。自分たちの地域は自分たちで守る。
- ・地域のつながりのために、大切なことだと思う。
- ・みんなで自己紹介とかできたらいいのでは。
- ・地藏盆もないので、地域が交流できる企画がほしい。炊き出し訓練など。

2019 年度防災作戦ワークショップアンケートより

知りたい

避難所運営

- ・避難所のトラブルと解消法。
- ・魅力的な避難所運営。

知りたい

避難の仕方

- ・お年寄りと子供の両方を連れてどう避難すればいい？
- ・大災害の時に道が塞がって避難ができるか。車を使うのも無理と思う。助け合いができるか心配。
- ・阪神大震災では圧死や火事による死者が多かったとテレビで見た。大地震の際、今熊野も住宅が密集しており火事がおきるのではと思う。火事が起きると避難所になっている小学校にも行けない。近くの高いところに逃げたらいいでしょうか？



「学びの場」が必要

- ・防災の役で来ているが、町内の人すべてに、こんな話が行き届いたらいいと思う。
- ・数を増やして再度実施希望。参加者がくる方向にアイデアを考えてほしい。
- ・他県で起こった災害の原因等、ここの地域で起こりうるのかの解説があったらいいと思う。
- ・災害の通達方法はどうなっているのか。
- ・情報をよろしく願います。
- ・まずなにをしたらいいか（行動）、防災情報の得方が知りたい。
- ・町が若い世代、新しい世帯ばかりなので、今熊野学区の情報を共有していただけるとありがたい。

2019 年度防災作戦ワークショップアンケートより

5-1-3 坂のまち 今熊野の 各町の運営体制アンケート

各町で運営体制に違いがあることがわかります。お住まいの町の体制を見直す参考にしてください。

(町番号)	町名	組数	世帯数	地域の集合場所	町内会長		防災部長	町内会長 II 防災部長	
		192	1,731		継続	輪番	輪番		
第1ブロック	1 宝蔵町西部	11	90	①宝蔵公園、②はんなり前 / 伊久様宅前三叉 ③本田様宅前 / 智積院裏門前	○		1年	× 別々	
	2 宝蔵町東部	8	68	神田ガレージ前		1年	1年	× 別々	
	3 宝蔵町中部	15	117	東山駐車場（元学生会館）		1年	1年	× 別々	
	4 権現町	4	52	宝蔵公園		1年	1年	× 別々	
	5 東瓦町	8	82	東山企業組合駐車場	○		1年	× 別々	
第2ブロック	6 宝蔵町南部	9	79	宝蔵公園	○		1年	× 別々	
	7 宝蔵町東南部	7	50	檀原様宅前		○	○	× 別々	
	8 榊ノ森町	8	85	光瀬寺前		1年	1年	× 別々	
	9 北剣ノ宮町	12	118	剣神社		1年	1年	× 別々	
	10 南剣ノ宮町	3	36	ちびっこ広場		1年	1年	× 別々	
	11 山内町	5	29	弁天前駐車場		1年	1年	× 別々	
第3ブロック	12 御陵前町	2	28	今熊野小学校		1年	1年	× 別々	
	13 南日吉町中	9	58	今熊野小学校		1年	1年	× 別々	
	14 南日吉町西南部	7	64	石束山荘前		1年	1年	× 別々	
	15 南日吉町西部	7	81	今熊野小学校	○		1年	× 別々	
	16 三幸町	5	46	南日吉公園		1年	1年	× 別々	
	17 東三幸町	6	83	南日吉公園		1年	1年	× 別々	
第4ブロック	18 日吉町西部	5	82	地藏山墓地		1年	1年	× 別々	
	19 日吉町東部	15	121	①京都幼稚園前、②松斎陶苑前		1年	1年	× 別々	
	20 日吉町北部	4	29	吉田様宅前		1年	1年	× 別々	
	21 新住宅町	3	20	防火水槽前		1年	1年	○すべての 役を担う	
	22 曼陀羅園町	3	19	丹羽様宅前		1年	1年	× 別々	
第5ブロック	23 万松園町	8	92	ラフィーネ東山前		1年	1年	× 別々	
	24 本万松園町	6	56	お地藏さん前		1年	1年	× 別々	
	25 万松町	6	27	吉川商店前		1年	1年	× 別々	
	26 月輪町西部	5	34	南日吉公園		1年	1年	× 別々	
	27 月輪町中部	7	43	寺尾様宅前		1年	1年	× 別々	
	28 月輪町東部	4	42	元竹やぶ前		○	○	× 別々	

※令和2(2020)年度の防災部長等に回答いただいた内容を基に作成しており、現状と異なる内容がある可能性があります。
現状と異なる場合は、内容を適宜更新していきましょう。

		広報板	町内マップ板				防災倉庫		要配慮者名簿		夜回り	町内の 防災訓練
		箇所数	箇所数	作成	費用	今後の意向	有無	今後の意向	有無	今後の意向	頻度	頻度
1	宝蔵町西部	1箇所	×			-	×	-	×	決めていない	月1回	年1回
2	宝蔵町東部	1箇所	×			-	×	-	-	決めていない	-	-
3	宝蔵町中部	2箇所	×			-	×	今のところ 必要ない	×	-	×	×
4	権現町	0箇所	×			-	×	今のところ 必要ない	×	-	×	×
5	東瓦町	2箇所	×			つくりたい	×	今のところ 必要ない	○	決めていない	×	×
6	宝蔵町南部	2箇所	2箇所	1996 (平成 8)	-	-	-	-	×	決めていない	×	×
7	宝蔵町東南部	2箇所	2箇所	2013 (平成 25)	昔のことで 不明	-	×	-	×	決めていない	×	年2回
8	柳ノ森町	2箇所	2箇所	2012 (平成 24)	町内会費 で作成	今のところ 必要ない	×	今のところ 必要ない	×	決めていない	×	×
9	北剣ノ宮町	2箇所	1箇所	2015 (平成 27)	-	-	×	-	○	決めていない	×	×
10	南剣ノ宮町	1箇所	1箇所	2011 (平成 23)	-	-	-	-	×	-	×	×
11	山内町	1箇所	1箇所	-	-	つくりたい	×	今のところ 必要ない	×	決めていない	×	年1回
12	御陵前町	2箇所	×	-		つくりたい	-	つくりたい	×	決めていない	×	×
13	南日吉町中	2箇所	×				×		×		×	×
14	南日吉町西南部	3箇所	×			つくりたい	×		○		×	年2回
15	南日吉町西部	1箇所	1箇所	-	-	つくりたい	×	今のところ 必要ない	×	決めていない	×	年2回
16	三幸町	1箇所	1箇所	-	-	つくりたい	×	わからない	×	決めていない	×	×
17	東三幸町	1箇所	×			つくりたい	×	つくりたい	×	決めていない	×	×
18	日吉町西部	1箇所	×				×		×		×	×
19	日吉町東部	2箇所	×				×		×		×	×
20	日吉町北部	1箇所	×			今のところ 必要ない	×		-	決めていない	×	×
21	新住宅町	1箇所	1箇所	-	京都女子 大が作成	-	×	ないよりは あるとよい	-	今のところ 必要ない	-	-
22	曼陀羅園町	1箇所	1箇所	-	-	-	×					
23	万松園町	2箇所	×				×		×		×	×
24	本万松園町	2箇所	×			今のところ 必要ない	×	つくりたい	×	決めていない	×	×
25	万松町	3箇所	2箇所				×		×		×	×
26	月輪町西部	1箇所	-	-		プライバシー もあり不明	×	置く場所が あれば希望	-	あったらよい	○回って いる人有	○三幸町等 と共同実施
27	月輪町中部	2箇所	1箇所	-	-	-	×		○	決めていない	×	○
28	月輪町東部	1箇所	×			今のところ 必要ない	×	わからない	×	決めていない	×	年1回

5-2 坂のまち 今熊野の 主な関連団体の紹介

今熊野学区自主防災会

みんなで守ろう、今熊野。

防災訓練や消火実験会など防災イベントを通じて、今熊野に住む皆さんが世代を超えて交流し、顔が見える関係を築くことで、今熊野の防災力が高められるよう活動しています。災害時であっても、みんなで協力して困難を乗り越えられる地域を目指して、これからも今熊野の皆さんと一緒に防災活動に取り組んでいきます。

地域

今熊野学区自治連合会

広い学区をまとめる
地域自治の要！

学区発足以来、自主防災会をはじめ、社会福祉協議会、体育振興会など 17 の各種団体で構成され、今熊野学区の暮らしを支える自治活動を行っています。

東山消防団 今熊野分団

消防署と連携して
地域を守る頼もしい存在！

女性 3 名を含む団員数 16 名（令和 2 年 4 月 1 日時点）の今熊野分団。若さ溢れるアットホームな雰囲気ですが、いざ訓練では「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神の下、一致団結して頑張っています。また、女性目線のよりきめ細かな指導や防火啓発活動をはじめ「何にでも情熱的、積極的に取り組み、全員で頑張ろう！」をモットーに地元の防災活動を行っています。

今熊野商店街振興組合

地域に愛される
地域の資源！

「以前は賑わっていたのに」とよく言われますが、お年寄りも含め、地域の皆さまに愛される商店街を目指しております。買い物だけではなく、数々のイベントにもご来訪ください！また、災害時における地域との対応など、商店街も引き続き、地域と連携していきます。

地域に根差した
空き家活用の専門家集団！

NPO 法人京都泉山



2013（平成 25）年、京都市が進める空き家対策事業の調査で、今熊野学区の空き家数が 171 軒と判明。自治連合会の石井会長は「空き家の発生を防ぐには、相続や改修等について住民が安心して相談できる地域密着の窓口が必要」と感じ、2015（平成 27）年に法人を設立。地元には詳しい弁護士・税理士・建築士・不動産業等の専門家を揃え、個別相談や、元今熊野小学校等で相談会を行っています。今熊野をはじめとする東山南部地区の安心な暮らし、地域の活性化を目指し活動しています。

サポート

防災まちづくりの
整備の相談はココ！

京都市都市計画局 まち再生・創造推進室

tel 075-222-3503

防災まちづくりに関する具体的な対策や整備に関する支援制度を取り扱っています。また、当室の支援制度に該当しない整備についても、他部署の制度を紹介できる場合もあるので、お気軽にご相談ください。

いろんな地域の
まちづくりを知っています！

（公財）京都市景観・まちづくりセンター

tel 075-354-8701

まちづくり活動を行う地域の相談対応や専門家派遣を行っています。また、京町家などの建物の保全・利活用に関する相談対応や支援、まちづくりに関するセミナーの企画・運営などを行っています。

今熊野学区の、
心強い消防のプロ！

東山消防署・泉涌寺消防出張所

tel 075-561-1330

今熊野学区が毎月実施している消火実験会に協力し、消火器の取扱い訓練、災害時の初動措置や避難行動に関する訓練、防火・防災情報の発信などを行っています。また、各町内には災害時の「防災行動マニュアル」があります。今一度、確認しましょう。火災予防、救急、訓練など、防災関係についてご相談ください。

今熊野学区の、
地域防災の総窓口！

東山区役所地域力推進室（防災担当）

tel 075-561-9105

防災啓発や避難所運営マニュアルの作成など、自主防災会の活動支援を行っています。災害時には災害対策本部を立ち上げ、災害対応の拠点として活動します。日頃の災害の備えなど、お気軽にご相談ください。また、窓口では「ハザードマップ」や、個人の防災行動計画である「マイ・タイムライン」をお渡ししています。

5-3

おわりに



「向こう三軒両隣」という言葉があります。

地震で家が倒壊したら助けてくれるのは、遠い親戚より近くの他人。そう、ご近所付き合いの大切さを表しています。

でも、よく考えてみてください。

向かいの3軒と両隣で5軒も家がある。あなたを倒壊した5軒野中から最初に助けてくれる方はいますか？ご近所付き合いは、生活を豊かにするだけでなく災害への備えでもあります。

今熊野の防災力は、そんな「人と人のつながり」で出来ています。この力を未来の今熊野へつなぐことも、私たちの大切な役割です。さらに、その防災力を高めるためには、あなたの力が必要です。

この度、「今熊野学区防災まちづくり計画書」を策定しました。策定にあたり、ご協力いただいた多くの皆さまに御礼申し上げます。また、この活動を通じ今熊野の魅力を引き出してくれた専門家の牧野さんに心より敬意を表します。

いよいよ、この計画を手に防災まちづくりが始まります。
あなたの描く、明るい今熊野のまちを共に作りましょう。

今熊野学区自主防災会

今熊野学区防災まちづくりチーム

地域

今熊野学区自主防災会

竹島耕三、馬場保夫、利田勝治、井川淳史、
中路和子、樋口博紀、進藤佳代子、生賀洋美、
佐俣英和、江見博子、西村進

今熊野学区自治連合会

石井良之

東山消防団 今熊野分団

市川宗臣

サポート

京都市都市計画局まち再生・創造推進室 (密集市街地・細街路対策担当)

(公財)京都市景観・まちづくりセンター (地域まちづくり担当)

東山消防署・泉涌寺消防出張所

東山区役所地域力推進室(防災担当)

専門家(今熊野学区防災まちづくり派遣)

牧野杏里

※敬称略

問合せ / 相談先

直接のご連絡

自主防災会役員まで、お気軽にご相談、お問い合わせください。

メールでのご連絡

メールでのご連絡は、imakumanobosai@gmail.com まで。



ホームページ

<https://imakumanobosai.wixsite.com/bosai>

計画書策定までの防災まちづくり活動について掲載しています。問い合わせフォームもあります。



公式 LINE

LINE アカウント：
@imakumanobosai

<https://page.line.me/imakumanobosai>

今熊野に関する防災情報を中心に発信しています。
町名を入れると、地域の集会所が確認できます。



Facebook

<https://www.facebook.com/imakumanobosai/>

防災まちづくりや自主防災会の活動報告を、定期的に文章と画像で広報しています。



Instagram

<https://www.instagram.com/imakumanobosai/>

防災まちづくりや自主防災会の活動報告を、定期的に文章と画像で広報しています。

「今熊野学区防災まちづくり計画書」

2021(令和3)年3月31日 初版第一刷発行

編集・発行

今熊野学区防災まちづくりチーム

デザイン / イラスト

牧野杏里

制作協賛

今熊野学区自主防災会

今熊野商店街振興組合

NPO 法人京都泉山

無断転載の禁止

本書の内容(本文、図表、イラストなど)を著作権者の承諾なしに無断で転載(翻訳、複写、データベースへの入力、インターネットでの掲載など)することを禁じます。

今熊野学区防災まちづくり計画

2021（令和3）年3月
今熊野学区防災まちづくりチーム